

令和2年第9回加須市教育委員会定例会会議録

招集の日時	令和2年9月17日	午後1時30分
招集の場所	全員協議会室 ※新型コロナウイルス感染症対策のため会場変更	
開会の日時	令和2年9月17日	午後1時30分
閉会の日時	令和2年9月17日	午後2時50分
出席者の氏名	渡邊義昭教育長、福田孝夫教育長職務代理者、小林義之委員、遠藤康江委員、猪股富美子委員、秋山哲也委員	
欠席者の氏名		
会議に出席した者の氏名	江原千裕生涯学習部長、杉田 勝学校教育部長、小泉雅広こども局長兼福祉事務所長兼学校教育部理事、大原英明生涯学習部副部長兼教育総務課長、平渡勢津郎文化・学習センター所長、増田英二図書館課長、刑部香織学校教育課長、高貫 貢学校給食課長、野本朋子保育幼稚園課長兼学校教育部主席専門員、松本知之生涯学習課主幹、松井善人スポーツ振興課主幹、清水博文学校教育課主幹兼指導主事、齋藤 誠学校教育課主幹兼指導主事、小林英憲子育て支援課主幹、武井由加里教育総務課主幹	
会期日程	第1	会議時間の決定
	第2	会議録署名委員の指名
	第3	前回会議録の承認
	第4	報告第8号 臨時代理の報告について（加須市教育委員会事務局職員の分限処分について）
	第5	第50号議案 令和元年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等について
	第6	第51号議案 加須市教育委員会の令和3年度当初教職員人事異動の方針について
	第7	その他
発言者	会議の概要	
渡邊教育長	<p>ただいまから、令和2年第9回加須市教育委員会定例会を開会します。 会議時間の短縮のため、事務局は各資料の説明について、簡潔明瞭に行ってください。</p> <p>本日の議事日程につきましては、別紙のとおりでございますので、ご了承願います。 本日は、傍聴希望者はありません。</p> <p><b>【日程第1 会議時間の決定】</b> 日程第1 会議時間の決定についてでございますが、本日の日程がすべて終了するまでとすることによろしいでしょうか。 (異議なしとの声あり)</p>	
渡邊教育長		

	<p>それでは、会議時間は、本日の日程がすべて終了するまでといたします。</p>
渡邊教育長	<p><b>【日程第2 会議録署名委員の指名】</b>  日程第2 会議録署名委員の指名について、今回は小林委員にお願いいたします。</p>
小林委員	<p>はい。</p>
渡邊教育長	<p><b>【日程第3 前回会議録の承認】</b>  日程第3 前回会議録の承認についてですが、令和2年の第8回定例会の会議録については、事前にお配りしてございます。  前回会議録の内容について何かご質疑、ご意見等ございますか。</p>
猪股委員	<p>前回の私の発言に関連しまして、修学旅行等のキャンセルについて、先日、校長会の後に、教育委員会の担当の先生から修学旅行は中止になったという連絡がありました。校長会での話し合いの様子やその後の保護者の反応など、簡単に伺えればと思います。</p>
齋藤学校教育課主幹兼指導主事	<p>宿泊を伴う行事を中止することに関しましては、校長先生方も理解をされていまして、特に反対といったことはございませんでした。また、保護者からも、どうしてやらないのですかというような反応もありませんでした。こういう状況の中、実施するとした方が、反響が大きかったように思います。</p>
渡邊教育長	<p>他にございますか。  (なしとの声あり)</p>
渡邊教育長	<p>ご質疑、ご意見等ないようですので、前回会議録については承認ということでよろしいでしょうか。  (異議なしとの声あり)</p>
渡邊教育長	<p>それでは、承認とします。</p>
渡邊教育長	<p>日程第4 報告第8号「臨時代理の報告について（加須市教育委員会事務局職員の分限処分について）」は、個人情報を含む案件であることから、加須市情報公開条例第7条第1項第2号の非公開情報にあたります。</p>
渡邊教育長	<p>よって、日程第4 報告第8号は、加須市教育委員会会議規則第3条第5項に基づき、会議を非公開とする ことでよろしいですか。  (よろしい との声あり)</p>
渡邊教育長	<p>それでは、これより会議を非公開といたします。</p>
	<p><b>【日程第4 報告第8号「臨時代理の報告について（加須市教育委員会事務局職員の分限処分について）」】</b></p>

渡邊教育長	<p>これより会議の非公開を解きます。</p> <p>【日程第5 第50号議案「令和元年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等について」】</p>
渡邊教育長	<p>日程第5 第50号議案「令和元年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等について」を議題といたします。事務局より説明させます。</p>
大原生涯学習部副部長兼教育総務課長	<p>令和元年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成したいので、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項の規定により、この案を提出するものであります。</p> <p>こちらにつきましては、前回の8月の定例会で教育委員の皆様にご協議いただいたところでございます。学識経験者の方のご意見等も併せて整理し、修正及び追加をしまして、今回、議案として提案をさせていただきました。</p> <p>前回から訂正・追加をした箇所については、参考資料に一覧としてまとめました。また、別冊の方では網掛けでお示ししております。</p> <p>よろしくご審議の程お願いいたします。</p>
渡邊教育長	<p>以上説明がありました。ご質疑、ご意見等ございますか。</p>
遠藤委員	<p>41ページの学校いきいきステーション事業について、実績値がかなり訂正されていますが、これはただの計算間違いだったのでしょうか。それとも「学校応援団に登録する市民の数」の定義が変わったのでしょうか。</p>
刑部学校教育課長	<p>学校応援団は、小学校でも中学校でもやっていただいている方もいらっしゃいますので、平成28年度以降、延べ人数で集計をしておりましたが、令和元年度のみ実人数になっておりましたので、延べ人数に修正をさせていただきました。</p>
小林委員	<p>公立幼稚園施設整備事業について、耐震化の目標値と実績値ですが、28年度から30年度までの目標が88%、実績も88%で、ずっと同じになっています。これはこの間、耐震化の工事はしていなかったということでしょうか。</p> <p>それから、今後の取組のところには、「すべての幼稚園、小中学校の耐震化を令和2年度に完了させる」とあるわけですが、そういうことであれば、2年度の目標値は、94%でなくて100%となるのではないのでしょうか。</p>
野本保育幼稚園課長	<p>平成28年度末現在、公立幼稚園13園のうち、11園までの耐震化は終了しておりました。その後、30年度までは、新たな耐震化工事は実施しておりません。</p> <p>令和元年度と2年度の目標値の94%は、2年度までに公立幼稚園13園のうち12園までは、何とか耐震化を行うという計画を基に設定した値です。しかしながら、昨年度の地元の話し合いにより、樋遣川幼稚園と大越幼稚園の統合は今後、数年は無いということになりましたので、その結果を受け、それぞれの園の耐震化を行うことで方向性が確定しました。</p> <p>そのため、2年度に両園の耐震化を行いまして、2年度の実績値は100%になる予定でございますが、目標値の方は当初の計画に基づき94%としております。</p>

渡邊教育長	<p>他にございますか。</p> <p>それでは、ご質疑、ご意見等ないようですので、お諮りします。 第50号議案「令和元年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等について」は、原案のとおり可決ということによろしいですか。 (異議なしとの声あり)</p> <p>それでは、原案可決とします。</p> <p>(全員賛成により原案可決)</p> <p><b>【日程第6 第51号議案「加須市教育委員会の令和3年度当初教職員人事異動の方針について」】</b></p>
渡邊教育長	<p>日程第6 第51号議案「加須市教育委員会の令和3年度当初教職員人事異動の方針について」を議題といたします。事務局より説明させます。</p>
刑部学校教育課長	<p>加須市教育委員会の人事異動について、令和3年度当初教職員人事異動の方針を定めたいので、この案を提案するものであります。 よろしくご審議の程お願いいたします。</p>
渡邊教育長	<p>基本的には、市の人事異動の方針は、県の教育委員会の人事異動の方針に準じなければなりませんので、県の人事異動方針と同じ表記としております。 不明な点等、ご質問いただければと思います。</p>
福田教育長職務代理者	<p>毎年、この時期になると次年度の教職員人事異動方針が出るわけですが、昨年度と比べ、変更した部分がありましたら説明をお願いしたいと思います。</p>
刑部学校教育課長	<p>特に変更点はございません。</p>
福田教育長職務代理者	<p>わかりました。 昨年度、教育委員も例年どおり学校訪問をさせていただきました。そうしますと、今の小中学校は、若い先生が多いですね。若い先生は体も動きますし、学級担任としては、子供たちから見ると魅力的だと思います。ただ、指導力という面になりますと、なかなかそれだけでは難しい部分があると思います。 そういう中で、ある程度の年配の先生方が少ない。若い先生方に直接指導できる経験豊かな先生、そういう先生の立場や働き方など、その辺りのことは教育委員会として配慮はしているのでしょうか。</p>
刑部学校教育課長	<p>委員さんがおっしゃるように、やはり年齢差がありますので、そちらが偏らないように人事異動を行うというのが基本でございます。また、再任用制度もございまして、ベテランの先生で力のある方にはどんどん勤めていただくという形で取り組んでおります。 また、人事異動とは別になりますが、教育委員会の方でも、「学びプラス」といって、直接若手の職員を呼んで指導主事が学級経営や教科指導などを指導す</p>

る場も設けまして、研修の場を増やしているところでございます。

清水学校教育課主  
幹兼指導主事

来年度、初任者が必ず入ってくる見込みでございます。今年度も既に実施しておりますが、初任者が配置された学校には、指導主事が年2回から3回訪問し、直接指導をして経験を積ませるということを行っております。この方針には入っておりませんが、そのような形でバックアップしていこうと考えております。

渡邊教育長

他にございますか。

小林委員

先ほど市の方針は県の方針と同様という説明がありましたが、私は加須市の方針の方がより良いと思っています。

県の方針では、従来から「1（6）」に「女性教職員の個々の能力、適性等を考慮し、積極的な登用に努める」と入っていますが、加須市では、数年前からだったと思いますが、あえて「女性教職員」とは謳っていない。そこは加須市の方針の方がより良いと私は思います。

渡邊教育長

ありがとうございます。その精神をさらに生かしていきたいと思っております。そのほかにいかがでしょうか。

猪股委員

教職員の特性や能力を配慮して適材適所で配置を検討されているということですが、例えばG I G Aスクールの今後の円滑運営のために、I Tを熟知した教職員を各学校にバランスよく配置するような、計画的な、戦略的な配置を考えているのでしょうか。

それから、小学校の教員採用試験の倍率が下がっていますが、ある一定の倍率を下回ると教員の質の確保ができないというような議論がされています。新任もそうですが、管理職の方の人材確保というのも大きな課題になっていますが、加須市では若手教職員の管理職への登用について、どのような状況でしょうか。なかなか成り手がいないとか、積極的に若手に声をかけるようにしているとか、実態を伺わせていただければなと思います。

杉田学校教育部長

まず一つ目のG I G Aスクールについてですが、今年度、一人一台、端末が入るということで、来年度以降を視野に入れて進めて参りたいなと思います。当然、教育委員会が主体となった研修等もあります。また、他市との交流等もありますので、一つの学校に固まることなく進めてまいりたいと思います。併せて、先ほど申しましたように、みんなが次のステージに入るということで、研修が大切になってきますので、その辺を合わせて進めてまいります。

それから二つ目ですが、委員さんご指摘のとおり、教頭選考、校長選考ともに、10年前と比べますと、倍率等も全然違ってきました。40代前後の年齢層は、採用の人数も少ないので、その辺の影響もあるとは思いますが、現状としてはそういったところにあります。

管理職については、教育委員会としましても、選考対象者について校長先生から情報をいただいて、そうした方に声をかけて、志を持って、学校全体を見られるようにということで、勉強会を開いています。そうした中で、勉強会に参加できないあるいは受考しないということについては、なかなか強制はできないのかなと思っております。

福田委員さんからもご指摘ございましたが、今、20代は多いのですが、37、

8から45歳くらいまでは、本当に少ない。ですから、学校のリーダーである学年主任や教務主任になる対象者も教頭選考試験を受ける対象者も少なく、非常に困っている。これが現状です。あと4、5年経つと35から40歳の教員が増えてきますので、今が頑張りどころではないかなと思います。

猪股委員

小中間の人事交流について、総合教育会議の方でもお話が出ていましたが、今後、5年、10年という単位で、小中学校のあり方についても変革期が訪れると思います。小中間の人事交流といいますと、中学校の先生が管理職になって小学校の校長になるなど、管理職についての話はよく聞きますが、一般の先生方の人事交流はどのような状況でしょう。免許のこともあると思いますので、小学校の免許を持ってない先生が実際に現場で教えることは難しいとは思いますが、そういう近い将来の学校のあり方の変化を見通した中長期的な視点から、一般の先生方の人事交流ということについて、何か計画や方針というものはあるのでしょうか。

杉田学校教育部長

小中間の人事交流についてですが、県の政策になりますが、Jプランといいまして、教員が中学校から小学校に下りて、また、子供と一緒に中学校に上がってくるというものがあります。市としても、数年に1回という形にはなりますが、そうした交流はできるだけ取り組もうと思っています。

また、当初人事の中で、小学校の先生が中学校へ、中学校の先生が小学校へという人事交流も、毎年少ないですけども、養護教諭、それから一般の教諭でも何例かございます。

委員さんご指摘のとおり、小中交流ということは、今後大事な視点になってくると思います。免許についてですが、中学校の免許しか持っていない教員でも、小学校でも担当の教科は教えられます。また、算数と数学は相互交流ができますので、そういう点は人事交流をする際の工夫の一つになるかと思います。

渡邊教育長

補足させていただきます。

文科省の方も、小学校の5、6年生の算数と理科と英語については、教科担任制を進めていきたいということで、今、原案を考えているようです。そのために、大学の教育課程を変更して小学校の資格と中学校の資格を取りやすくするというような、抜本的な免許制度の改革にも取り組んでいきたいという方向性が議論されている状況です。

なお、小学校と中学校で勤務する学校が変わるのは結構大変なんですね。私も経験があります。小学校から中学校の方に異動する時というのは、あまり抵抗はないんですが、中学校から小学校に行くときは大変です。特に小学校1年生2年生との会話は難しい。そんなふうになかなか難しいところがございますが、交流は進めていきたいと思っています。

杉田学校教育部長

管理職の資質という視点からのご質問についてですが、今、埼玉県教育委員会では、管理職の方は教頭選考試験がありまして、それから一定の経験を経て、校長選考試験となりますが、さいたま市は1回だけです。委員さんにはご案内のことと思いますが、政令指定都市や都道府県によっては、1回しか試験を行わない、あるいは、筆記試験や面接試験を行わない、そういう動きもございます。これは、本当に対象となる年齢層が少ない。これは埼玉県だけでなく、全国的な傾向です。そういった中で、そうした動きも出ているということも補足させていただきます。

渡邊教育長	他にございますか。
秋山委員	<p>先ほどGIGAスクールの人材配置ということで、大事だなと思いました。私の分野の音楽に関してですが、私の教室に、ある小学校の先生がピアノの伴奏を習いに何回か来ていただいたことがあります。その先生は声楽専攻で、ピアノに精通しているわけではないと。音楽の先生でも、ピアノが得意でなく、伴奏で苦労されている先生も結構いらっしゃいますので、人事を考えていただく時に、ピアノ伴奏が対処できるかどうかというのも結構大事になってくのではないかなと思います。</p> <p>音楽の先生だからピアノが弾けるというわけではないので、配置の際にはその辺も少しお考えいただければ幸いです。</p>
杉田部長	<p>ご指摘のとおりで、小学校でも中学校でも県費負担教職員の中には、苦手な方もいらっしゃいますので、例えば、教育活動補助員の方にやっていただくような対応している学校もあります。</p> <p>小規模な中学校につきましては、音楽の担当が配置できないところもあります。音楽の授業は、1年生では週1.3時間、2、3年生では週1時間です。それですと1週間あたりの授業時間が少なくて音楽科の先生を配置することができませんので、非常勤講師の先生を週2日とか3日、お願いする状況になります。そうした学校では、音楽的な行事をやる時に難儀します。これは、美術も同じような現状にあります。</p>
渡邊教育長	<p>小学校の教員は、担当は全科となっていますので、音楽の勉強もしています。全員が音楽の勉強はしてきていますが、技術が定着していないというところがあります。そのことについては、いろいろ配慮しながら人事は行っています。</p>
福田教育長職務代理者	<p>小学校も中学校も、入学式や卒業式、その他いろいろな行事があります。小学校は鼓笛もあります。私の経験でも、音楽の先生、ピアノができる先生は非常に貴重でしたね。</p>
小林委員	<p>英語の先生について、特に小学校では教科として授業時間も増え、ますます重要になってきていると思いますが、実際にどういうことが問題になっているか、そしてまた、どんな工夫をされているか、お伺いしたいと思います。</p>
清水学校教育課主幹兼指導主事	<p>小学校の英語に関しましては、ALTを配置し、教員の補助をするような形で全校で活動しております。また、今年度に関しましては、中学校の英語の免許を持っている小学校の先生を、他の小学校でも英語の教育指導ができるような形で配置しております。</p> <p>すべての学校を同じようにできているわけではないのですが、今後は、英語の教育指導を充実させるために、A校に勤務している先生が、B校でも英語の指導ができるような体制ができればと考えております。</p>
猪股委員	<p>勸奨退職についてですが、あと数年というところで定年退職を待たずにベテランの先生が辞めてしまう、そういう方が私の知り合いの方でもいます。介護などのため、やむを得なくということなのかもしれませんが、加須市での勸奨退職は、最近はどういう傾向にあるのでしょうか。</p>

	<p>私は仕事柄、教員を目指す学生が増えてほしいという立場なのですが、せっかく志があったけれど、教育実習に行っていて、やっぱりやめますっていう学生もいたりして残念なことがあります。新任の先生について、ちょっと前に加須市でも数人がまとめて辞めたという時があったかと思いますが、最近の新任の着任件数と離職率の傾向についても状況を教えていただきたいのですが。</p>
<p>清水学校教育課主幹兼指導主事</p>	<p>一つ目の勧奨退職についてですが、昨年度は3名の勧奨退職の方がいらっしゃいました。これは、ご本人の方から、少し早目なんですけど辞めさせていただきたいということでした。</p> <p>二つ目の新任者についてですが、ここ数年、10人から15人の間で入っております。昨年度、今年度ともに、離職者は1人もおりません。</p>
<p>杉田学校教育部長</p>	<p>新任者について、教育長から我々が受けている指示は、「育成」と「見極め」です。</p> <p>ご案内のとおり、教員の場合には、法律によって条件付採用期間が1年あります。その中で、きちんと育成する、きちんと見極めるということで、校長会の時にも、各校長に繰り返しお願いしております。教員の前に、社会人としてどうかというところについても、どんな小さなことも挙げてほしいと伝えています。</p> <p>これから30年から40年近い年数、子供の前に立つわけですので、場合によっては進路変更もその方にとってはいいことかもしれない、そういう視点もございます。加須市教育委員会では、指導主事が新任のところに行きまして、話を聞いたり授業を見たりして、直接励ましております。</p>
<p>遠藤委員</p>	<p>今、小学校や中学校にいる子供たちが、将来大きくなって教員という立場になるとお思います。お話を伺って、本当に小さなときからコミュニケーション能力といますか、いろいろな人といろいろな形で関われる能力というのを身に付けることが大事だなとお思いましたので、今の学校の先生に、そういう点もお願いしたいとお思います。</p>
<p>渡邊教育長</p>	<p>他にございますか。</p>
<p>秋山委員</p>	<p>さきほどの補足になりますが、音楽大学では、ピアノ以外の楽器や声楽などの専攻では、ピアノの授業は週20分を1年間か2年間やると修了というような感じで、本当に習得できたのかなというような状況です。国立大学ですと、声楽とピアノ、両方ともしっかり試験をやったりしますが、そうした差があります。ピアノ専攻であれば伴奏ができないということはないとお思いますので、付け加えさせていただきます。</p>
<p>渡邊教育長</p>	<p>それでは、お諮りします。</p> <p>第51号議案「加須市教育委員会の令和3年度当初教職員人事異動の方針について」は、原案のとおり可決ということでもよろしいですか。</p> <p>(異議なしとの声あり)</p> <p>それでは、原案可決とします。</p> <p>(全員賛成により原案可決)</p>



【日程第7 その他】

渡邊教育長

日程第7 諸般の報告をいたします。  
まず、各部長より、順次報告をいたします。

江原生涯学習部長

・ 令和2年度加須市一般会計補正予算（第6号）に係る予算執行状況について

杉田学校教育部長

・ 運動会、体育祭について  
・ 中学校の新人戦の開催について

小泉こども局長

・ 幼稚園、保育所、学童保育の8月の利用状況について  
・ こども局所管イベント事業について

渡邊教育長

1点、私からも報告いたします。昨日、北川辺にあるウム・ヴェルト株式会社に対し、市長から感謝状の贈呈がありました。北川辺地域の保育所、幼稚園、小学校、中学校に対して、合計100万ほどの寄付をいただいたことが理由です。各学校、園に、大体20万くらいの物品を、それぞれの希望に合わせていただいております。実は、去年もいただいているんですね。

そうしたことです。何かありましたら、その時には、教育委員として、お礼を言っていたら幸いかなと思っております。

小林委員

ウム・ヴェルトさんですね。実は以前、同社の社長さんから、地元で何か必要なものはないだろうか、という相談がございました。そこで、学校施設に関することでどうでしょうかと申し上げました。

そうした中で、現金ですとやりくりが大変でしょうから、各学校、幼稚園も含めて、好きなものを買ってもらおうと。それを同社の方で支払う形にしたいという申し出がありまして、前の生涯学習部長さんと一緒にあいさつに行き、お話を伺ったということがございました。その時に、学校に関わらず、地元で必要なものは何でも言ってくれないかというお話もございました。

なぜ、北川辺かといいますと、実はウム・ヴェルトさんの本部が、私の家のすぐ前なんですよね。そうしたことがあって気軽に声をかけていただいたわけですが、毎週、周辺の田んぼ沿いのごみ拾いをするとか、あるいは、社長さん自身が若い頃、大変苦勞され、いろいろな人にお世話になったということで、朝飯が食べにくい事情がある人には朝飯を提供するとか、思い切ったこと好意的にやってくさっていて、感謝をしております。

渡邊教育長

ありがとうございます。  
それでは、本日配布した資料について、担当課から説明をいたします。

松本生涯学習課主幹

・ 令和2年度加須市人権問題指導者研修会の開催について  
・ 令和2年度集会所事業「小・中学生学級」の開催について  
・ 10月以降の市民学習カレッジセミナー及び公民館講座（生涯学習講座）等の開催中止について

渡邊教育長

何かご質疑、ご意見等ございますか。

渡邊教育長

以上で報告を終わります。  
それでは、以上で、令和2年第9回定例会は終了となります。

次回、令和2年第10回定例会は10月21日(水)午後1時30分に開会します。これをもちまして、令和2年第9回加須市教育委員会定例会を閉会といたします。

ご苦労さまでした。

上記、会議の顛末を記載し相違ないことを証明するため、ここに署名する。

令和2年10月21日

教育長 渡 邊 義 昭

委 員 小 林 義 之

書 記 武 井 由 加 里